



そうだったのか！ がん専門医による抗がん剤のお話

内科 診療部長 池尻文良
いけじりふみよし

第8回

【免疫チェックポイント阻害薬の効果のお話】

最近内容が難しいとご指摘を受けています。申し訳ありません。なるべくわかりやすくお話をするようにします。

さて、今回は免疫チェックポイント阻害薬の効果について、私が経験した症例をお話しします。患者さんは50代の男性でした。私が勤めていた病院を受診する前に、別の病院で治療を受けていました。その方は診断された時点で胃がんの末期状態で、肝臓には無数の転移がある状態でした。現代の医学では胃がんが他の臓器に転移している場合は根治が困難です。もちろんその病院でも適切な抗がん剤治療（標準化学療法）がなされたのですが、不幸にして病気は進行し、肝臓の転移のため、肝不全（肝臓が十分に働かなくなる病態）となっていました。

以前にもお話した通り、抗がん剤はもともと副作用が強いものです。そのうえ、多くの抗がん剤は作用した後に肝臓で処理され、無毒化されます。もし、肝臓が働かなくなれば、抗がん剤は肝臓で処理されず副作用ばかりが強くなってしまいます。つまり肝不全があるとほとんどの抗がん剤は使えなくなるのです。そういった理由から前の病院では治療の継続が難しいと判断され、ご自宅で看取りの方針となっていました。

そのような中、患者さんはセカンドオピニオン（他の医師の意見も聞いてみること）として私の外来にいらっしゃいました。肝不全のため黄疸おうだんが進み、私の見立てでは残された時間は2週間程度と思われました。前の医師の治療選択に全く間違いはなかったのですが、「何かできることはないか？」と相談され、肝不全状態でも実施可能と考えられている免疫チェックポイント阻害薬のオプジーボを十分な説明と同意の上、使用することにしました。するとみるみる肝臓の数値が改善し、黄疸おうだんも消えたのでした！それは肝不全が改善したことを意味します。

残念ながら効果がみられたのは8週間だけでしたが、肝不全が改善したことにより、一般的な抗がん剤も使えるようになったのです。そのおかげで、その患者さんはその後2年と8か月の間、元気に治療に通ってもらいました。最終的には残念ながらお亡くなりになりましたが、2週間と見込まれた余命を2年8か月に延ばすことが出来たのです。



こんな時どうする？
～救急外来のかかり方～
町立奥出雲病院 救急外来



町立奥出雲病院コーナー

熱中症

気温や湿度が高い環境のもとで体温調整がうまくいけなくなり“手足の筋肉の痛み”“筋肉が勝手に収縮する”“頭痛”“めまい”“吐き気”“身体のだるさ”“立ちくらみ”などの症状がおこります

★室内でも熱中症はおこります★

熱中症を疑う症状が見られたら

- ①風通しの良い日陰、クーラーの効いた室内へ移動
- ②身体を冷やす…アイスノンを首、脇の下、足の付け根におき集中的に冷やしましょう
- ③塩分、水分補給

救急車を呼ぶ *意識がない!! 自力で動くことが出来ない!!

*水が飲めない、強い身体のだるさ、脱力感 受診する

ムカデに刺された

- 42℃くらいの流水で10分程度患部を流す
呼吸困難やじんましん、気分不良などの症状が出たらすぐに 受診

マダニに咬まれた

- 自分で取ろうとせず、そのまま 受診

マムシに咬まれた

- 安静を保ち、咬まれた部位より心臓に近いところを布などで縛り 受診
※強く縛りすぎない

蜂に刺された

- 傷口を流水でよく洗い流す、蜂の針が残っている場合は抜く
毒液をしぼり出す、冷やす、安静にする
※エピペン注射を持っている方はすぐに打って下さい
息苦しい、胸部圧迫感、じんましん、吐き気、嘔吐、下痢、意識を失う 救急車

犬、猫に噛まれた

- 流水で患部をしっかり洗い流す 受診
※細菌やウイルスに感染し化膿しやすい

救急外来のかかり方

- 来院前にはかかりつけ医に一度相談してからお越し下さい
- 来院前に病院へ連絡して頂きお薬手帳を忘れずに持参して下さい
- 救急外来で行う検査は、直ちに治療が必要な病気やケガに対する検査です
症状が続く時や不安な場合は平日の一般外来を受診して下さい